



株式会社 ヤマックス

(写真：新阿蘇大橋)

58

第58期報告書

YAMAX
BUSINESS REPORT

(写真：国道57号線 北側復旧ルート)

2020年4月1日～2021年3月31日

証券コード：5285



To Our Shareholders

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、このたびの新型コロナウイルスに罹患された皆様、及び感染拡大により生活に影響を受けている皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

私たちヤマックスグループは、創業以来、「技術」と「品質」をもってお客様のニーズに応え、豊かな社会の発展に貢献することを使命と考えてまいりました。地球規模で人と環境の問題がクローズアップされる今こそ、グローバルな視点から災害や自然への対応を考えなければならない時だと思っております。

これまで、そしてこれからも「人と環境の最適な調和」を念頭に皆様に信頼される業界のリーディングカンパニーとして、新たな成長を目指して前進してまいりますので、株主の皆様の引き続きの、また倍旧のご支援、ご指導を謹んでお願い申し上げます。

それではここに、当連結会計年度(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の当社グループの経営成績等につきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長 茂森 拓

2021年6月

経営成績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、全世界に広がりを見せる新型コロナウイルスの影響による経済活動の停滞を解消すべく、国並びに地方自治体が消費喚起の施策を試みるものの、感染拡大の勢いにより施策を停止せざるを得ない状況が続くなど、景気の先行きは不透明な状況にて推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、社会資本の整備にて求められる各種効果を重視した公共事業投資による経済成長を図るため、公共事業投資予算を安定的かつ継続的に確保するとの国の方針により、2020年度の公共事業投資も前年度を上回る予算額で決定され、その基本構想には、治水対策を中心とした防災・減災対策の強化や中長期的な成長の基盤となるインフラの整備など、激甚化・頻発化が懸念される自然災害から国民の生命と財産を守るための国土強靱化が骨子として掲げられております。

このような状況のもと、当社グループは、前年度よ

り継続して社会資本の整備に向けた具体策への情報収集に加え、国土強靱化に向けた防災・減災対策や道路・橋梁等の老朽化対策等に対する各地方自治体の動向に今以上の注視を重ねるとともに、自然災害による被災地に対しましては、工事の進捗に合わせ必要とされるコンクリート二次製品の安定的な供給が責務であると受け止め、当社グループの総力を駆使しその対応に努めました。

また、当社グループの新型コロナウイルスの感染拡大による当連結会計年度の業績への影響は、営業活動の一部に制約を受けたものの、軽微なものとなりました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は185億7千6百万円(前年同期比14.2%増)、営業利益は6億3千5百万円(同54.1%増)、経常利益は6億5千3百万円(同48.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は4億4千2百万円(同95.0%増)となりました。

対処すべき課題

今後の当社グループを取り巻く経営環境につきましては、気候変動の影響により激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害等に屈しない強靱な国土づくりを目標とした国の公共事業投資への方針は前年度と変わらず、2021年度の公共事業投資予算も、前年度末に補正予算として決定された15兆円規模の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」と合わせ、前年度予算を上回る額にて決定され、防災・減災、国土強靱化の推進やインフラ老朽化対策を中心とした動きが活発になるものと予測しております。

このような経営環境を踏まえ、当社グループは、前年度より継続して国土強靱化に向けた防災・減災対策や道路・橋梁等の各種インフラ老朽化対策に対する各地方自治体の動向に注視をより深めるとともに、社会資本の整備に向けた具体策への情報収集にも注力いたします。また、令和2年7月に人吉球磨地区を中心に熊本県南部で発生した豪雨災害への復旧工事に対しましては、工事の進捗に合わせ必要とされるコンクリート二次製品の安定的な供給が与えられた責務であるとの認識のもと、タイムリーな対応に努めてまいります。

そのような中、土木用セメント製品事業におきましては、令和2年7月豪雨災害にて被災した地域の復旧に向けて、これから本番を迎える工事に必要とされるコンクリート二次製品の供給を最優先するとともに、国の方針に沿った社会資本整備の具体的な動きにも対応し、また、継続的なテーマである大型コンクリート構造物のプレキャスト化への推進につきましても、自社開発した製品や工法のアピールに基づく普及拡大を目的に、継続的かつ意欲的な営業活動の推進に努めてまいります。

建築用セメント製品事業におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による民間需要への影響は避けられないものと受け止め、工事案件への慎重な

対応を心掛けてまいります。

また、幅広い情報収集活動並びに新規市場の開拓や未着手分野の新製品への取り組み等で受注を確保し、工場生産量の平準化を目指してまいります。加えて、人手不足や工期短縮に対応できる建築用コンクリート二次製品の利点についてもアピールを重ね、安定的な受注確保に繋げる営業活動に努めてまいります。

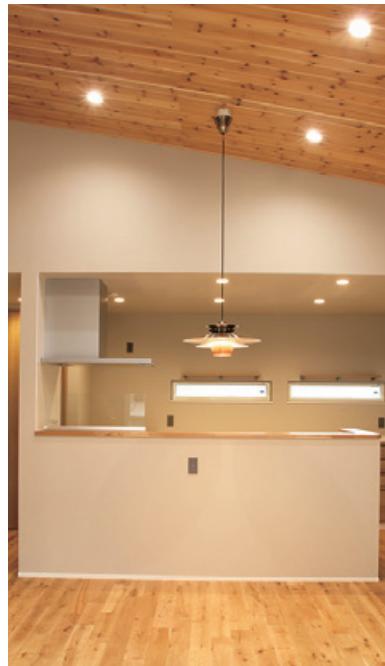
不動産関連事業におきましては、従来の集客拠点としての住宅展示場の利用に加え、ネットやSNS等を利用した集客体制を整えることで顧客との接遇の機会を増大させてまいります。また、販売用土地の取得・開発をさらに拡大させるとともに、住宅業界の今後を見据えた「高性能（ZEH）住宅」の販売によりアッパーミドル層の顧客獲得にチャレンジするなど、自社ブランド「さらりの家」の受注活動に注力してまいります。

今後も、コンクリート二次製品の総合メーカーとして技術力・設計力を強化し、販売シェアの拡大並びに安定した受注の確保に繋げ、業績の向上と確固たる経営基盤を確立してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ヤマックスを支える3つの柱

ヤマックスは、「人と環境の最適な調和」をモットーにインフラ整備から住まいづくりまで、常にあなたのそばに存在しています。



土木用セメント製品事業

私たちの社会を支えつづける
土木用コンクリート二次製品

道路の側溝や下水道、トンネルから橋まで。ボックスカルバートを始め、あらゆる土木用のコンクリート二次製品の製造・販売を行っています。

豊かな社会を支える当事業は、近年の自然災害への対応や、自然との調和、循環型社会への転換など、常に時代のニーズに応える製品を生み出し、人々が暮らしやすい生活環境を実現しています。

建築用セメント製品事業

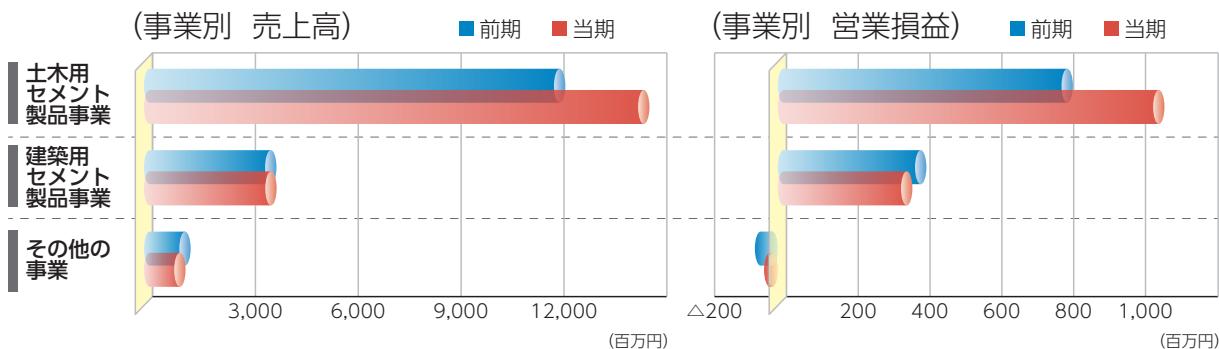
省資源・省力化に貢献する
建築用コンクリート二次製品

超高層ビルの外壁材であるカーテンウォールや床板、マンションのバルコニーや階段など、建築用のコンクリート二次製品の製造・販売を行っています。大都市圏での需要が目覚しい当事業は、建築現場での木製型枠削減による森林資源の保護や、工期短縮による環境負荷低減など、自然にやさしい建築工法を実現しています。

ハウジング事業

一年中快適な「心地いい家」を目指す
戸建木造住宅

四季を肌で感じられるのは素敵なことですが、「あつい」「さむい」が度を過ぎると少々うんざりします。ヤマックスの家づくりはそんな「うんざり」を「心地いい」に変える家づくりをコンセプトに、戸建木造住宅の販売・施工を行っています。都市づくりで培ったノウハウを生かし、世界に一つだけの、家族にやさしい家づくりを目指します。



土木用セメント製品事業

当連結会計年度における土木業界につきましては、平成28年熊本地震により被災した熊本県における復旧・復興工事は穏やかな動きとなったものの、九州管内の土木関連工事は九州横断自動車道延岡線や国道3号植木バイパスの整備促進等の活発な動きもあり堅調に推移いたしました。

このような状況の中、九州地区及び東北地区の復旧・復興工事につきましては、工事発注状況に即したコンクリート二次製品の供給を最優先するとともに、新たな社会資本の整備に向けた具体的な動きにも注視を重ね、即応できる供給体制の構築に努めました。また、継続的なテーマである大型コンクリート構造物のプレキャスト化の推進につきましても、自社開発した製品や工法の普及拡大を目的とする意欲的な営業活動に注力いたしました。

この結果、売上高は143億2千6百万円（前年同期比20.7%増）、営業利益は10億3千7百万円（同32.7%増）となりました。



Business Overview

事業別の概況

建築用セメント製品事業

当連結会計年度における建築業界につきましては、国内景気の緩やかな回復基調に合わせ堅調な動きを見せていた建築需要も、新型コロナウイルスの感染拡大により、過去に類を見ない経済活動への様々な制限に加え、その終息時期とその後の経済状況が予測しづらいことから慎重な対応を強いられることとなり、民間需要の今後の動きについて、更なる注視が求められる状況になりました。

このような状況の中、製造効率を踏まえた製造工場の稼働体制の見直しを行うとともに、人手不足や工期短縮に対応できる建築用コンクリート二次製品の利点をゼネコンのみならず地場の建設業者へも広く積極的にアピールを重ね、納入実績の確保を目的とする営業活動にも努めてまいりました。

この結果、売上高は34億5千3百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は3億3千5百万円（同10.4%減）となりました。



その他の事業



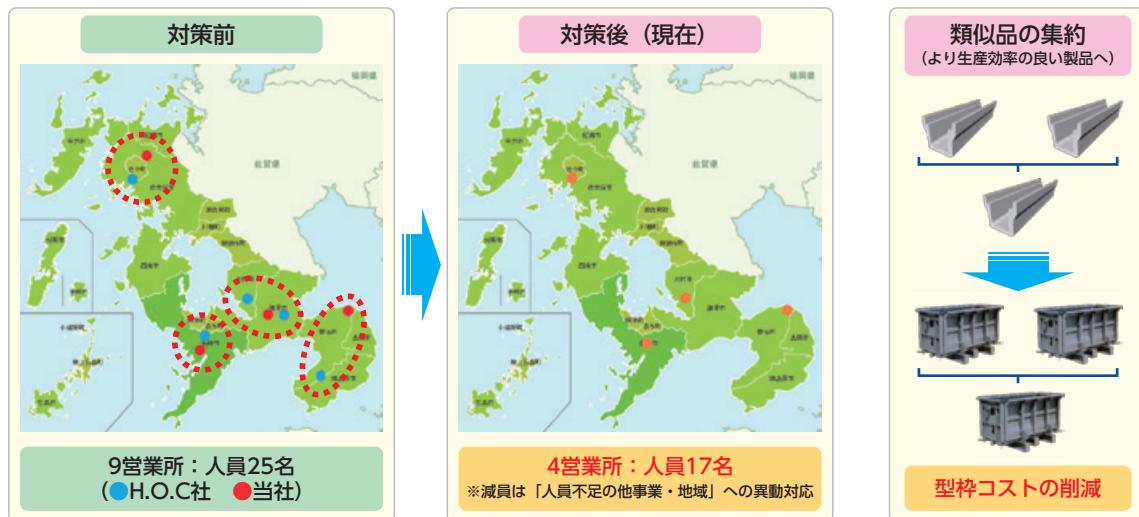
不動産関連事業におきましては、販売用土地の取得・開発をさらに拡大するとともに、住宅業界の今後を見据えた「高性能（ZEH）住宅」の販売により、アップミドル層の顧客獲得にチャレンジするなど、自社ブランド「さらりの家」の受注活動に注力したものの、新型コロナウイルスの影響により、集客拠点としている住宅展示場への来場者数は大きく減少いたしました。

この結果、売上高は7億9千6百万円（前年同期比15.9%減）、営業損益は5百万円の損失（前年同期は1千6百万円の損失）となりました。

株式会社HOCヤマックスを子会社化

株式会社HOCヤマックスは、長崎県内の著しい「需要低迷」・「価格低迷」に対する抜本的改革が必至と捉え、長崎県内において競業関係にあったH.O.C株式会社と共同出資により2013年4月に設立した合併会社です。

新会社設立により、両社の「営業拠点の統合（9営業所→4営業所へ）」・「生産拠点の統合（6工場→4工場へ）」をはじめ、「類似品の集約による型枠コストの削減」や「工場毎の設備に適した生産体制の確立による生産効率の向上」などに取り組み、新会社設立前と比べ大きく効果が表れています。



また、更なる経営集約化・経営責任の明確化・意思決定の迅速化を図るべく、2020年4月に同社を子会社化しました。

今後もヤマックスグループはコンクリート二次製品の供給を通じ、多くの地域で自然災害からの復旧や環境インフラ整備に貢献してまいります。

ヤマックスの新しいテレビCMが放映中



ヤマックスの新しいテレビCMが、熊本エリアで放映中です!!
このテレビCMでは、ヤマックスのコンクリート二次製品が街を造っていく様子をクリエイティブアニメで表現していて、流れる音楽は耳なじみが良く軽快で、つつい口ずさんでしまいそうなCMソングです。

以前はハウジング事業に特化したテレビCMを放映していましたが、今回はヤマックスのメイン事業であるコンクリート二次製品を中心として、広くヤマックスの事業や規模を知ってもらうためのCMとなっています。

ヤマックスはBtoB事業がメインのため、建設業界以外での知名度は残念ながら今一歩で、このテレビCMがヤマックスの知名度アップや採用力の強化、ステークホルダーへのイメージアップにも一役買ってくれると期待しています。

このテレビCMは、「ユーチューブ」でも公開しています。また、ハウジング事業のInstagramもご覧いただけますので、あわせて是非ご視聴ください。

【テレビCM】
ユーチューブ視聴URL
<https://youtu.be/q91yEWqYnJs>



【ハウジング事業】
Instagram視聴URL
<https://www.instagram.com/yamax.housing/>



ヤマックスグループのSDGsへの取り組み

ヤマックスグループは「人と環境の最適な調和を提唱し、豊かな社会の発展に貢献します」を経営理念としており、これは2015年9月の国連サミットにて全会一致で採択された持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標『SDGs（持続可能な開発目標）』と同じ方向を目指しています。

ヤマックスグループはSDGsに賛同し、企業活動を通してSDGsの達成に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



たとえば…

- コンクリート二次製品の更なる普及を推進することにより、工事現場で使われる木製型枠パネルの使用量が削減され、ひいてはこれが「森林保護」に繋がります。また、あわせて木製型枠パネルの焼却処分時に発生する「CO₂排出削減」にも貢献しています。
- 工場照明のLED化や営業車輛にハイブリッド車を導入するなど、「エネルギーの効率的な使用」を目指しています。
- 製造過程で発生するコンクリート二次製品の不良品を減らすなど、「産業廃棄物の削減」を努力目標としています。
- 健康診断の徹底や病気療養の支援を積極的に行うなど、「健康経営」の意識をもって企業経営を行っています。
- 年間休日数の増加や有給休暇の取得奨励など、従業員の「働き方改革」も推進しています。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第57期	第58期
	2020年3月31日現在	2021年3月31日現在
◇資産の部		
流動資産	6,823,128	7,578,185
固定資産	6,437,550	6,395,384
有形固定資産	5,649,428	5,589,022
無形固定資産	140,676	129,911
投資その他の資産	647,445	676,450
資産合計	13,260,678	13,973,570
◇負債の部		
流動負債	6,744,566	7,568,496
固定負債	1,862,444	1,377,119
負債合計	8,607,011	8,945,616
◇純資産の部		
株主資本	4,699,849	5,025,692
その他の包括利益累計額	△46,181	4,660
非支配株主持分	—	△2,399
純資産合計	4,653,667	5,027,953
負債・純資産合計	13,260,678	13,973,570

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第57期	第58期
	2019年4月1日～ 2020年3月31日	2020年4月1日～ 2021年3月31日
売上高	16,269,735	18,576,923
売上原価	12,963,793	14,912,740
売上総利益	3,305,941	3,664,182
販売費及び一般管理費	2,893,471	3,028,426
営業利益	412,470	635,755
営業外収益	69,147	58,521
営業外費用	40,175	41,024
経常利益	441,441	653,253
特別損失	44,701	—
税金等調整前当期純利益	396,740	653,253
法人税、住民税及び事業税	174,095	244,109
法人税等調整額	△4,283	△30,941
当期純利益	226,928	440,084
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	△2,403
親会社株主に帰属する当期純利益	226,928	442,488

連結株主資本等変動計算書

第58期 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,752,040	719,368	2,500,312	△271,871	4,699,849	44,596	△90,777	△46,181	—	4,653,667
当期変動額										
剰余金の配当			△60,828		△60,828					△60,828
親会社株主に帰属する 当期純利益			442,488		442,488					442,488
自己株式の取得				△55,816	△55,816					△55,816
連結子会社の増加による 非支配株主持分の増減									4	4
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						29,054	21,787	50,842	△2,403	48,438
当期変動額合計	—	—	381,660	△55,816	325,843	29,054	21,787	50,842	△2,399	374,286
当期末残高	1,752,040	719,368	2,881,972	△327,688	5,025,692	73,650	△68,990	4,660	△2,399	5,027,953

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第57期	第58期
	2020年3月31日現在	2021年3月31日現在
◇資産の部		
流動資産	5,670,776	5,944,242
固定資産	5,618,705	5,625,923
有形固定資産	4,818,845	4,797,722
無形固定資産	138,618	126,947
投資その他の資産	661,241	701,253
資産合計	11,289,482	11,570,165
◇負債の部		
流動負債	5,937,381	6,185,377
固定負債	1,588,886	1,173,608
負債合計	7,526,268	7,358,985
◇純資産の部		
株主資本	3,718,617	4,137,529
評価・換算差額等	44,596	73,650
純資産合計	3,763,213	4,211,180
負債・純資産合計	11,289,482	11,570,165

損益計算書

(単位：千円)

科 目	第57期	第58期
	2019年4月1日～ 2020年3月31日	2020年4月1日～ 2021年3月31日
売上高	13,891,587	14,727,780
売上原価	10,964,865	11,704,931
売上総利益	2,926,721	3,022,848
販売費及び一般管理費	2,485,922	2,381,991
営業利益	440,799	640,856
営業外収益	163,406	146,153
営業外費用	35,395	34,784
経常利益	568,810	752,226
特別損失	44,701	—
税引前当期純利益	524,109	752,226
法人税、住民税及び事業税	173,018	238,903
法人税等調整額	△4,166	△22,233
当期純利益	355,257	535,556

株主資本等変動計算書

第58期 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本									評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	1,752,040	142,286	577,081	719,368	30,315	1,488,764	1,519,080	△271,871	3,718,617	44,596	3,763,213
当期変動額											
剰余金の配当					6,082	△66,911	△60,828		△60,828		△60,828
当期純利益						535,556	535,556		535,556		535,556
自己株式の取得								△55,816	△55,816		△55,816
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）										29,054	29,054
当期変動額合計	—	—	—	—	6,082	468,645	474,728	△55,816	418,911	29,054	447,966
当期末残高	1,752,040	142,286	577,081	719,368	36,398	1,957,410	1,993,809	△327,688	4,137,529	73,650	4,211,180

Corporate Profile

会社の概要 (2021年6月29日現在)

概要

商号 株式会社ヤマックス
本社所在地 〒862-0950
熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号
TEL 096-381-6411 (代表)
設立年月日 1963年10月10日
資本金 17億5,204万円
従業員数 490名 (2021年3月31日現在)

役員

代表取締役会長	茂森 潔	監査役	坂井 裕
代表取締役社長	茂森 拓	社外監査役	松山隆文
取締役副社長	森 將彦	社外監査役	中島邦介
専務取締役	甲斐広志		
常務取締役	名村朝克		
常務取締役	西田親良		
取締役	長岡純生		
取締役	浦崎啓介		
社外取締役	津留 清		

沿革

- 1963年 10月 長崎県島原市にヤマウコンクリート工業株式会社を設立、各種コンクリート二次製品の設計・製造及び販売に関する事業を開始
- 1964年 2月 長崎県南高来郡 (現:雲仙市) 国見町に島原工場を新設
- 1967年 8月 熊本県下益城郡 (現:宇城市) 松橋町に松橋工場を新設
- 11月 長崎県南高来郡 (現:雲仙市) 国見町に本社を移転
- 1968年 11月 熊本県山鹿市に株式会社ヤマウ工業本社工場を新設
- 1973年 9月 熊本県下益城郡 (現:宇城市) 小川町に小川工場を新設
- 1974年 3月 熊本県荒尾市に有限会社荒尾コンクリート工業本社工場を新設
- 1979年 7月 埼玉県羽生市にヤマウハウス株式会社埼玉工場を新設
- 1981年 8月 長崎県北松浦郡 (現:佐世保市) 吉井町に佐世保工場を新設
- 1989年 1月 熊本県玉名郡長洲町に長洲工場を新設
- 1990年 7月 熊本県熊本市に本社を移転
- 1991年 9月 株式会社ヤマウ工業、ヤマウハウス株式会社、荒尾コンクリート工業株式会社 (旧:有限会社荒尾コンクリート工業) 及び小倉建材工業株式会社の4社を吸収合併し、株式会社ヤマックスに商号変更
- 1993年 10月 福岡県山門郡 (現:みやま市) 瀬高町に瀬高工場を新設
- 1995年 11月 日本証券業協会に株式を店頭登録
- 1997年 11月 株式会社ミナト建材 (連結子会社) を設立
- 2004年 12月 ジャスダック証券取引所 (現:東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)) 創設に伴い、同取引所に移行
- 2006年 5月 株式会社福岡ヤマックス (現:連結子会社) を設立
- 2011年 8月 熊本県球磨郡相良村に人吉工場を新設
- 2012年 3月 利根ジオテック株式会社 (現:株式会社東北ヤマックス、連結子会社) の株式取得
- 2012年 9月 茂森興産株式会社 (連結子会社) を吸収合併
- 2013年 4月 H.O.C株式会社 (長崎県大村市) との共同出資にて、長崎県佐世保市に株式会社HOCヤマックス (関連会社) を設立
- 2014年 4月 株式会社ミナト建材 (連結子会社) を吸収合併
- 2020年 4月 株式会社HOCヤマックスを連結子会社化



松橋工場



小川工場



長洲工場



瀬高工場

株式の状況

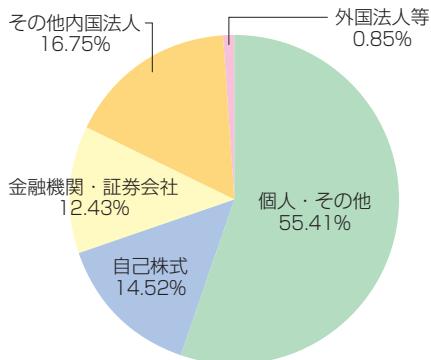
発行可能株式総数	23,000,000株
発行済株式の総数	5,790,000株
株主数	1,598名

大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (株)	持株比率 (%)
茂森 潔	381,000	7.69
平松 裕将	342,300	6.91
茂森 拓	205,500	4.15
伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社	200,000	4.04
宇部三菱セメント株式会社	182,500	3.68
株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)	150,000	3.03
ヤマックス従業員持株会	135,860	2.74
株式会社南日本銀行	120,000	2.42
株式会社麻生	117,500	2.37
元村 寿吉	115,600	2.33

(注) 上記のほか、自己株式が841,250株あり、持株比率はこれを控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (株式数ベース)



株主メモ

- ◆ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ◆ 定時株主総会 毎年6月
- ◆ 基準日 毎年3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
- ◆ 配当金受領株主確定日 毎年3月31日
中間配当金の支払いを行うときは9月30日
- ◆ 公告方法 電子公告により当社ウェブサイト (<https://www.yamax.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- ◆ 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- ◆ 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- ◆ お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続きお取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 (トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください)
未払い配当金のお支払い	みずほ信託銀行 (※) 及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※) トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続きお取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

YAMAX Network

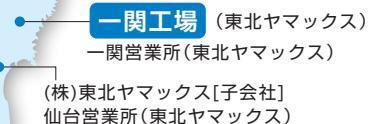
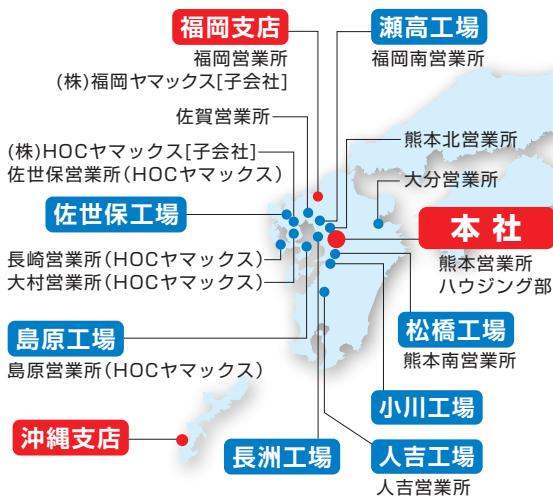
事業所案内 (2021年6月29日現在)

ヤマックスグループネットワーク

ヤマックスグループはコンクリート二次製品の総合メーカーとして、自社で製品設計を行い、日本工業規格認可の自社工場で厳しい製品管理と品質管理を経た最高水準のコンクリート二次製品を製造し、日本全国へ供給しています。



(東北ヤマックス 一関工場)



埼玉工場

東京支店



(本社ビル)



(東京支店)



(福岡支店)

Offices & Plants

事業所一覧



㈱ヤマックス

〈本 社〉	〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号	TEL 096-381-6411
〈支 店〉	東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川2丁目9番6号シュテルン中央ビル4F	TEL 03-6858-3751
	福岡支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目18番7号博多電気ビル1F	TEL 092-473-2600
	沖縄支店 〒900-0012 沖縄県那覇市泊2丁目1番18号T&C泊ビル302号	TEL 098-860-5400
〈営業所〉	熊本営業所 〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号	TEL 096-381-1311
	熊本南営業所 〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1392番地	TEL 0964-33-1058
	熊本北営業所 〒861-0522 熊本県山鹿市久原2565番地1	TEL 0968-43-4195
	人吉営業所 〒868-0095 熊本県球磨郡相良村柳瀬822番地40	TEL 0966-34-2032
	福岡営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目18番7号博多電気ビル1F	TEL 092-473-2605
	福岡南営業所 〒835-0016 福岡県みやま市瀬高町濱田338番地1	TEL 0944-62-5555
	佐賀営業所 〒840-0806 佐賀県佐賀市神園4丁目7番16号1F西側	TEL 0952-32-2151
	大分営業所 〒870-0942 大分県大分市大字羽田75番地40	TEL 097-500-8840
〈工 場〉	松橋工場 〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1392番地	TEL 0964-33-1058
	人吉工場 〒868-0095 熊本県球磨郡相良村柳瀬822番地40	TEL 0966-34-2032
	長洲工場 〒869-0111 熊本県玉名郡長洲町名石浜1番地	TEL 0968-78-3181
	小川工場 〒869-0606 熊本県宇城市小川町河江1212番地	TEL 0964-43-1131
	瀬高工場 〒835-0016 福岡県みやま市瀬高町濱田338番地1	TEL 0944-62-5555
	島原工場 〒859-1311 長崎県雲仙市国見町土黒甲394番地1	TEL 0957-78-2131
	佐世保工場 〒859-6311 長崎県佐世保市吉井町橋川内1000番2	TEL 0956-64-4111
	埼玉工場 〒348-0004 埼玉県羽生市弥勒1136番地1	TEL 048-565-3621
〈ハウジング部〉	〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号	TEL 096-340-8840

㈱東北ヤマックス

〈本 社〉	〒980-0822 宮城県仙台市青葉区立町27番21号仙台橋本ビルディング7F	TEL 022-716-6606
〈営業所〉	仙台営業所 〒980-0822 宮城県仙台市青葉区立町27番21号仙台橋本ビルディング7F	TEL 022-716-6606
	一関営業所 〒021-0852 岩手県一関市沢160番地	TEL 0191-23-2305
〈工 場〉	一関工場 〒021-0852 岩手県一関市沢160番地	TEL 0191-23-1180

㈱福岡ヤマックス

〈本 社〉	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目18番7号博多電気ビル1F	TEL 092-473-2755
-------	---	------------------

㈱HOCヤマックス

〈本 社〉	〒858-0907 長崎県佐世保市棚方町221番地2	TEL 0956-59-7791
〈営業所〉	佐世保営業所 〒858-0907 長崎県佐世保市棚方町221番地2	TEL 0956-59-7791
	長崎営業所 〒852-8117 長崎県長崎市平野町1番34号ロイヤルハイツセントポール1F	TEL 095-842-5215
	大村営業所 〒856-0835 長崎県大村市久原町2丁目1533番地2	TEL 0957-46-9999
	島原営業所 〒859-1311 長崎県雲仙市国見町土黒甲394番地1	TEL 0957-78-2133



あ、ここにも。
ヤマックス

あなたの暮らしに。あなたのそばに。

☐ <https://www.yamax.co.jp/>